

第19回「議員と語り合い」報告書

3班小野 (No. 1)

開催日	平成28年 5月16日 18時55分 ~ 20時35分		
開催場所	小野地区公民館		
団体名	小野地区	参加人員	27人 (男23人:女4人)
出席議員	前島 広紀、平原 志保、中村 正人、前川原 正人、中馬 幹雄、植山 利博		
役割分担	班 長 (植山 利博) 副班長 (前川原 正人) 記録係 (中馬 幹雄)		

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◆小野地区の後は山を控え上は台地になっているため、豪雨等で災害が発生しやすい地域である。この公民館が避難所になっているが適地であるのか。もっと安全なところに避難所を作ってほしい。合併前、県営小田団地の近くに公園をつくる計画があったが、合併により中止された。この地域には公園がないので作ってほしい。災害発生時に避難所にもなるのではないか。

◇確かに急傾斜地の区域になっています。市の担当者とも現地を見ますが、この急傾斜地の問題解決には莫大な経費がかかります。そのため少しずつではあるが取り組んでいる。議会でもこの問題は何回となく取り上げていますが、遅々として進んでいないのが現状である。この地域は確かに公園が少ない。市は緑の基本計画に基づき、全域にわたり充実を図っているところである。

◆小田東前の市道の排水路が機能していない。雨が降れば冠水し、車が通るたびに蓋がガタガタ音がる。この市道は通学路であり、冠水時は擁壁の上を走っているのが現状であり、大変危険であるので解消してほしい。

◆誘致された企業の通勤車両により渋滞が予想されるが、交差点の右折帯をつくるための道路拡幅を先に考えるべきではないか。

◇この件については議会としても通勤車両さらに物流車両が新たに増えて、今まで以上にこの北永野田～小浜線の渋滞は増加すると考えている。だからこそ、このことは考慮して、先んじて対策を講じなくてはならないと多数の議員が一般質問を行っている。

◆公園は、ただ緑地を造るだけのものではないと思う。現在の子どものいじめ等は大人の目にふれない所で起きている。だから子どもを外に引っ張り出して、大人の目に触れるところで遊ばせることで防げると思う。しかも若いお母さんたちの子育てにも役立つのでは。また、地域で子育てをすることになるのでは。視点を変えて公園の機能性を検討してほしい。

◆は参加者の質問・要望 ◇は議員の回答

◇公園整備は、市の総合計画の中で全市的に整備するわけで、その中に交流やふれあいの場としてだれでも利用できる多様な公園整備を計画的に行うとあり、ただこの地域に何時できるとは断言できない。

◆青木神社の裏の開発している所(許可を得ているか不明)からシラスが流出し、用水路にいつも堆積して、その土を除去するのが大変である。市に言ってもなしのつぶてである。災害が起きてからでは遅いと思うがどうにかならないか。

◆学童の通学路に防護策を設置してほしい。車両の通行が多いため横断がなかなかできないので、横断旗を設置してほしい。この公民館は避難所になっているが、高齢者も多いので男子トイレを洋式に変えてほしい。

◇トイレの洋式化は、実現に向けて取り組んでいきたい。横断旗は、まちづくり委員会から上げて頂きたい。

◆海岸沿いに廃船が多くみられるが、災害発生の一因になると思う。廃船撤去に取り組んでもらいたい。防犯灯の取り換え予算が少なすぎる。今なお木柱の防犯灯もあり、この状況では途方もない年数がかかる。日置市は、全市のLED化を2年で完了している。せめて5年で完了するような予算措置はできないか。

◇今後もこの件については取り組んでいきたい。

◆政務活動費と市町村合併について、各議員の意見を聞きたい。

◇それぞれの議員が発言した。

◆しらさぎ橋完成後、西への市道の改良計画はどのようになっているか。

◇しらさぎ橋から高専の裏から北永野田～小浜線にタッチをして、それからさらに加治木のジャンクションに直接繋ぐような道路整備をすべきであると議会でも質問している。市長もバイパス構想を持っているので、早急には無理でも今後取り組みは進められていくものと思われる。

◆石本川の上流に砂防ダムがあるが、その砂防ダムの上が決壊し満杯状態であり、下流の川を用水路として利用しているが、砂が流れ込み用水路としての機能が低下している。ダム内の土砂搬出を県に働きかけていただきたい。